

セーフコミュニティ かめおか

— けがや事故を予防しよう —

Vol.18 (平成 28 年 1 月号)



セーフコミュニティとは…

セーフコミュニティ（SC）とは、WHO（世界保健機関）が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、予防に重点を置き、地域社会全体が協働で進める安全安心なまちづくりの取り組みです。

TOPICS

1. 「かめおかコンビニセーフティネットワーク」発足
2. 京都府交通安全対策協議会交通安全功労賞を受賞
3. セーフスクール特集
4. 泉大津市セーフコミュニティ認証事前審査を視察
5. 交通安全子ども自転車亀岡市大会を開催
6. 特集 地域の安全安心活動を紹介します

◇問い合わせ先◇

亀岡市総務部安全安心まちづくり課

電話：0771-25-5097

FAX：0771-24-5501

E-mail:1sc2008@city.kameoka.kyoto.jp

「かめおかコンビニセーフティネットワーク」発足 ～身近なコンビニが防犯活動に協力します～

11月12日、市内全域26店舗のコンビニエンスストアと亀岡警察署・亀岡市・亀岡防犯推進委員連絡協議会が連携し、「かめおかコンビニセーフティネットワーク」が発足しました。

ネットワークの発足式では、防犯活動や予防対策に係る店舗間の情報共有や、より効果的な防犯訓練の在り方、更には、地域防犯活動との連携強化について意見交換が行われました。

今回のネットワークの形成は、セーフコミュニティが目指す協働による安全安心な地域社会づくりの新たな取り組みです。



〔発足式の様子：亀岡警察署〕

京都府交通対策協議会交通安全功労賞を受賞

「京都府交通対策協議会交通安全功労等表彰式」が10月21日に開催され、個人表彰として「セーフコミュニティかめおか 交通安全対策委員会」前委員長 俣野幸雄さん（亀岡地域交通安全活動推進員協議会前会長）、団体表彰として「千代川小学校」、市町村表彰として「亀岡市」が表彰されました。

この賞は、長年にわたり地域の交通安全思想の普及に努め、交通事故の抑止に功績を残すなど、交通安全活動に積極的に取り組んだ団体または個人に贈られる賞です。



〔俣野幸雄さん受賞〕

泉大津市セーフコミュニティ認証事前指導を視察 ～セーフコミュニティの最新動向を知る～

10月15日・16日に、泉大津市で、「セーフコミュニティ認証事前指導」が行われ、亀岡市の対策委員会の委員が視察しました。



〔対策委員会委員の視察の様子〕

亀岡市からは、交通安全、防犯、余暇・スポーツ、高齢者の対策委員会からそれぞれ委員9人が参加しました。

事前指導では、交通安全と防犯の取り組みなどについて発表があり、分析に基づき、課題を設定した上で、自転車の交通マナー向上やパトロール活動の展開状況と、今後の展望が紹介されました。



〔審査の様子〕

交通安全子ども自転車亀岡市大会を開催 ～正しい自転車の乗り方を学ぶ～

11月14日に、亀岡運動公園体育館において、「交通安全子ども自転車亀岡市大会」が開催されました。

この大会は、小学校児童に対して行われている「自転車安全教室」による交通安全教育の効果を一層高めるため、競技を通じて児童に交通安全知識の習得と交通安全の実践行動の習慣化を図り、交通事故を防止しようとするもので、「セーフコミュニティかめおか交通安全対策委員会」のプログラムの1つにもなっています。

今回は、夜間の事故予防を目指し、小学生の頃から反射材を着用してもらおうと、反射材視認テントを設置し、その効果を目で確認してもらいながら、反射材配布活動も実施しました。

反射材視認テントは色んなところで設置しています。見つけたらぜひ入ってみてください。



〔反射材視認テントを設置〕

特集 地域の安全安心活動を紹介します ～NPO 法人亀岡子育てネットワーク「ゆりかごひろば」での取り組み～

NPO 法人亀岡子育てネットワークでは、旧一の宮幼稚園（千歳町）で毎週3回、就園前のお子さんを持つ保護者を対象に、保護者・子どもが交流できる「ゆりかごひろば」を開催しています。

「セーフコミュニティかめおか乳幼児の安全対策委員会」の委員でもある石田数美代表は、その「ゆりかごひろば」の中で、今年度から「子どもの安全」をテーマに講座を開催されています。「交通安全」の講座では、亀岡警察署から講師を招き、子どもが巻き込まれやすい事故について遊びも交えながら説明があり、保護者の皆さんに気を付けてほしいことなどを伝えました。



〔交通安全講座の様子〕

インターナショナルセーフスクール



セーフスクールとは…

体と心のケガやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル・セーフスクール（ISS）です。

TOPICS

1. ISS を伝える
第六保育所・本梅保育所・曾我部小学校
2. ISS で変わる
川東保育所・保津保育所・東本梅保育所

亀岡市立曾我部小学校、社会福祉法人 倣襄 会 亀岡あゆみ保育園、亀岡市立保育所 8 力所（本梅、東本梅、川東、中部、東部、第六、別院、保津各保育所）が、10月3日にISS認証を取得しました。それ以降も、ISSを伝える情報発信に力を入れています。

ISSを伝える

保護者に伝える 第六保育所

第六保育所では、生活発表会の場で、5歳児の園児たちが、今まで取り組んできたISSの取り組みについて発表しました。

園児は、安全教育で学んだ「ブランコの安全」や体づくりの取り組みである「なわとび」、「跳び箱」を実演を交えて保護者に伝えました。



〔生活発表会の様子〕

地域に伝える 本梅保育所

本梅保育所では、「本梅町市民文化祭」において、ISS認証報告を兼ねた展示コーナーを設置しました。

今までの取り組みをまとめた掲示物や認証盾などを展示し、地域の人に改めてISS認証取得を伝えました。



〔展示コーナーの様子〕

世界に伝える 曾我部小学校

亀岡市制60周年記念事業の一環で、亀岡市の姉妹都市・友好交流都市4市からの訪問団が、曾我部小学校を訪問しました。

曾我部小学校では、ISSの取り組みについて説明し、安全・安心の学校であることをアピールしました。

曾我部小学校の取り組みが、世界に発信されています。



〔ISS説明の様子〕

情報発信や、ISS認証もきっかけとなり、色んな変化が生まれています。地域の力が加わって、取組協力者の増加や、環境の変化も起きています。

ISSで変わる

環境が変わる 川東保育所

川東保育所では、対策が必要な環境として、保育所前の交通量の多い道路を設定しています。

ISS認証審査を機に、馬路町自治会が、同じ道路沿いにある南丹高等学校とも連携し、道路環境の改善活動に取り組みました。

結果、横断者注意の看板や速度注意の道路表示ができ、より安全な環境に変わりました。



〔横断者注意の看板が設置されました〕



〔速度注意の道路標示ができました〕

馬路町自治会 中澤会長のコメント

当該地の安全対策に対するISS認証審査員からの環境面への指摘を受け、関係機関に相談したところ、早期の改善が実施されました。

ISS認証に伴う関係機関・団体等の協働した活動の実効性を実感しました。全市的なISS認証取得を通じて、子どもたちの安全な環境整備が早期に進められるものと感じました。



〔避難経路の説明〕

取組が変わる 保津保育所（避難訓練）

保津保育所では、愛宕谷川の上流にある「谷山池」の決壊を想定した避難訓練を実施しました。

この避難訓練では、保津町の自主防災会の上田会長に訓練に参加いただき、避難場所の確認など、より深い内容で実施することができました。



〔チャイルドシート体験〕

東本梅保育所（交通教室）

東本梅保育所では、「チャイルドシートの正しい着用」を課題としており、取り組みを進めています。

交通安全教室では、交流している育親中学校の生徒の参加を得て、早い段階から「シートベルトやチャイルドシートの大切さへの意識を高めてもらおうと、新たに取り組みを実施しました。

ISSのホームページができました。ISS申請書や各取組校の様子を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/safecom/safeschool/gaiyou.html> 検索